

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	20-008		
PDCA	事務事業名	保育園等公民連携更新計画 策定事業	部課等名	健康子ども部幼児保育課 保育担当	担当 内線等	冨塚 419	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第1節 子育て・子育て支援の推進 基本施策： 2. 幼児教育・保育 単位施策： (1) 幼児教育・保育の充実 個別施策： ⑧幼児教育・保育の一体的な運営の推進					
	根拠法令等	児童福祉法第24条					
	対象・目的	公立保育園等の施設老朽化に伴う整備に併せ、少子高齢化、待機児童解消、多様な保育需要に対応すべく、民営化（民設民営、民間連携等）や幼保一体化を視野に入れた施設更新計画を策定し、将来の財政負担軽減を図りつつ、安心・安全で持続可能な質の高い保育環境の整備を進める。「保育園等のあり方研究会」で決定した基本方針を基に、民営化やこども園化の方向性を見出し、施設更新と公民連携（市と民間事業者の連携）を併せた計画を策定し、公民一体で保育環境の整備を着実に進めていく。					
	目的を達成するための手段・活動内容	平成30年度に「保育園等のあり方研究会」にて保護者や関係者等と意見交換を行った上に決定した基本方針を基に、業者委託やパブリックコメントを経て、こども園化や民営化、施設更新を併せた「半田市保育園等公民連携更新計画」を策定する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		「保育園等のあり方研究会」等の開催（回数）	—	8	—	回	
		公民連携更新計画策定委員会（回数）	—	—	4		
		事業費	—	108	16,408	千円	
		人件費	—	3,435	3,726	千円	
		総事業費	—	3,543	20,134	千円	
	成果	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
		研究会等の開催に係る報償費	—	443	—	千円	
		委員会等の開催に係る報償費	—	—	12	千円	
		公民連携更新計画策定業務委託料	—	—	16,396	千円	
		成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①基本方針の作成	実績値	—	100	—	%
	目標値	—	100	—			
	①保育園等公民連携更新計画の策定	実績値	—	—	100	%	
		目標値	—	—	100		
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
事業の評価・課題	A 少子化、多様化する教育・保育ニーズ、待機児童対策等の課題を解決し、保育・教育環境の充実・整備を図るため、「半田市保育園等公民連携更新計画」の策定支援業務を民間業者に委託し、年4回開催した策定委員会にて計画をまとめた。さらに、作成した計画に対するパブリックコメントを実施し、提出いただいた意見を参考に、策定委員会にて修正を加え計画を完成させた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了 策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」を基に、公立保育園等の「民営化」、公立保育園と公立幼稚園の統合による「こども園化」を進め、質が高く多様な保育・教育サービスの提供と持続的な施設環境を整備していく。					
	令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位		